

内容をご熟読ください



HORNET[®]
Auto Security Systems

ビッグスクーター専用盗難警報器

Model
B1

Owner's Guide

取扱説明書

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI



この度はホーネットB1をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書に記した注意事項は、ホーネットを安全かつ正しくご使用していただき、事故や損害を未然に防止するための大切なものです。
ご使用前に、本書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
本書はなくさないよう、大切に保管しておいてください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気づきの点がありましたら、お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2008年8月1日現在のものです。

HORNET® コードホッピング® クリックトーン® は加藤電機株式会社および Directed Electronics, Inc. の日本国および米国における登録商標です。
KATO-DENKI ダイアグノスティック™等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標です。

目次

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意	5
使用上の注意	5
梱包物をご確認ください.....	7
B1の梱包物.....	7
B1の特長.....	8
●センサーについて	
2段階衝撃センサー(標準)(特許)	8
電流センサー(標準)	8
シートトリガー(オプション)	8
ループセンサー(オプション)	9
デジタル傾斜センサー(オプション)	9
イモビライザー機能(オプション)	9
●サイレン・音に関する機能	
センサー警戒開始時間(5秒/5分)選択可能.....	10
128dB 6音色サイレン	10
警報タイムの選択.....	10
●ホーネットの作動/解除に関する機能	
ハザードフラッシュ(オプション)	11
クリックトーン TM (動作確認音)(ON/OFF)	11
●便利な機能	
コンビニモード TM	12
パニックモード(強制サイレン)	12
●異常確認に関する機能	
メモリー機能	13
●リモコンに関する機能	
デジタルリモコン(2個標準)	14
リモコンIDコード盗難防止機能(コードホッピング®)	14
●その他	
NR-Aノイズリダクション(特許)	15
低消費電流.....	15
ホーネットステッカー	15

基本的なりモコンの使い方	16
リモコンのボタンについて	16
ホーネットを作動させる	17
ホーネットを解除する.....	17
警報が鳴っている時にホーネットを解除する	18
クリックトーン™消音機能.....	19
パニックモード(強制サイレン)	20
コンビニモード™	21
便利な機能	22
ハイセキュリティ解除™機能.....	22
メモリー機能	23
標準センサーについて	24
2段階衝撃センサーについて	24
2段階衝撃センサー感度調整の方法.....	25
電流センサーについて.....	26
機能設定	27
機能設定項目について	27
機能設定項目1 クリックトーン™ ON/OFF	28
機能設定項目2 警報タイムの選択	30
機能設定項目3 電流センサー ON/OFF.....	32
機能設定項目4 センサー警戒開始時間選択.....	34
機能設定項目5 センサーレポート音.....	36
機能設定項目6 2段階衝撃センサーフルサイレン.....	38
機能設定項目7 NR-Aノイズリダクションシステム(特許)	40
機能設定項目8 コードホッピング®(特許)	42
トラブルシュート	44
故障かな?と思ったら.....	44
アフターサービスについて	45
アフターサービスについて	45
保証書について.....	45
修理を依頼されるときは.....	45
お問い合わせ先・製品仕様	46

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明。



強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はどれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意

⚠ 警告

- 本製品を取り付けたままジェット洗浄をしないでください。ショートをし、感電や機器が故障する可能性があります。
- リモコンはお子様手の届かないところに保管してください。システムを解除してしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
- メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。知識のない方が取り付けを行なうと車両、システムの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。
- 当社全製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する可能性があります。また、分解および改造変更を行なった製品の保証は一切しておりません。



使用上の注意

(1) 適応車種限定品

取付可能な車種は、下記条件を全て満たしている車種に限定されています。

⚠ 危険

- DC12V 車両専用
6V・24V車両には装着できません。



(2) リモコンの取り扱いに関する注意

⚠ 注意

- リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- リモコン電池確認ランプが薄暗くなったら電池が消耗しています。早めに電池交換をしてください。
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので無償交換などは一切致しておりませんのであらかじめご了承ください。電池が消耗している場合には新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。



お取り扱い上の注意

(3) 使用方法についての注意

⚠ 注意

- テストの際はボディ等が破損しないように十分注意してください。
当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は低消費電力設計がされていますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消費具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合等は特にご注意ください。
- 本製品の警告音、警報音は、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切な感度にてご使用ください。
- 何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であってもパニックモードにより警報（警報音）が鳴り出す場合がありますが、あわてずにリモコンにより解除してください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品は完全防水性ではないため内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している個所では混信を受ける可能性が全くないわけではありません。

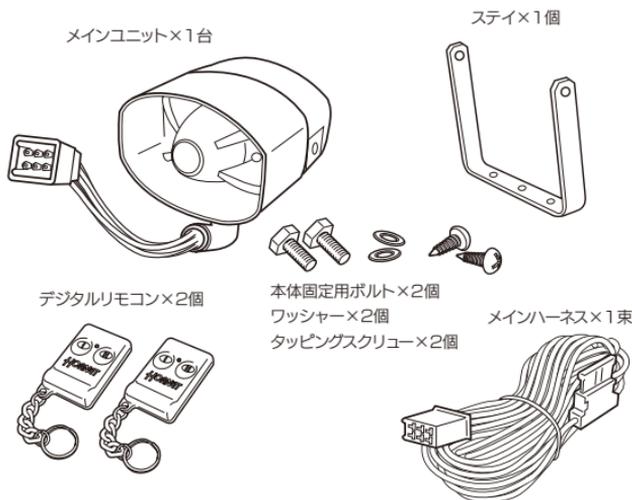


⚠ 必ずお読みください

- 本製品内蔵の2段階衝撃センサーは取り付け位置によって感度が大きく変わります。また、周囲の温度変化により2段階衝撃センサーの感度が変化することがあります。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、部品盗難等が発生しても当社では責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- 当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 取り付けの前に必ず、梱包物をご確認ください。

梱包物をご確認ください

B1の梱包物 (取り付けの前に必ずご確認ください)



- 取扱説明書×1冊
- 取付説明書×1冊
- ホーネットステッカー×1シート
- 製品保証書兼ユーザー登録はがき×1枚
- プライバシー保護シール×1枚

※ステッカーの再発行はいたしません。

！必ずお読みください

- 本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

B1の特長

●センサーについて

2段階衝撃センサー（標準）

特許

車体に加えられる衝撃を自動判別して弱い衝撃では警告音、強い衝撃では警報音を鳴らして威嚇します。（独立感度調整）

風などの揺れにはまったく反応せず、瞬間的に加わる衝撃あるいは衝撃波のみを検出します。

※衝撃センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（幹線道路周辺、工事現場や工場の近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風その他）による微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にも警報が鳴る場合があります。センサーの特徴をよく理解し、ご利用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご利用ください。

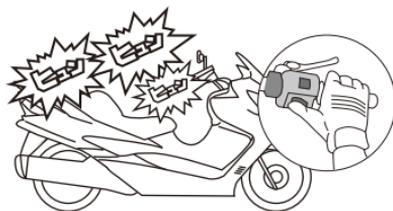
※一般的に衝撃センサーで傷つけを防ぐことはできません。

2段階衝撃センサー感度調整方法 取付説明書P.25参照



電流センサー（標準）

ホーネット作動中に、エンジンをかけようとすると警報音で威嚇します。



シートトリガー（オプション）

電流変化によるシートのこじ開け検出以外にもシートトリガー配線によって確実にシートの開閉を検出し警報音を鳴らすことができます。

※車種により別売の単線方式リレー（525T）が必要になる場合があります。

※電源を取る以外にシートトリガー配線が必要です。

注）シートの開閉信号を得られない車体の場合はご利用できません。



ループセンサー (オプション)

守りたい物に線を巻き付け、切断されると警報音を鳴らすことができます。

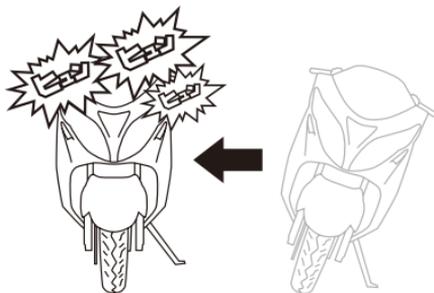


注) ループセンサー (502T) が必要です。(別売)

デジタル傾斜センサー (オプション)

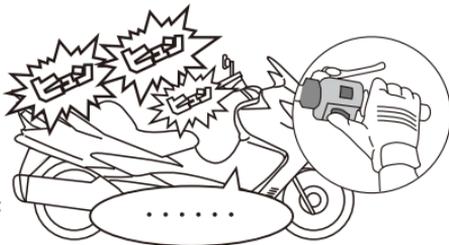
ホーネット作動中に車体が傾くと警報音を鳴らして威嚇します。

注) デジタル傾斜センサー (633P) が必要です。(別売)



イモビライザー機能 (オプション)

ホーネット作動時にスタートボタンでエンジンをかけられなくします。専用のリモコンでホーネットを解除しない限り、エンジンがかかりません。



注) スターター停止リレー (526T) が必要です。(別売)

B1の特長

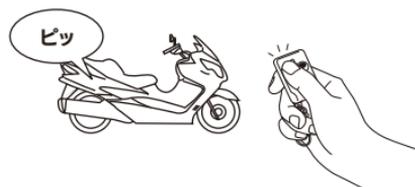
●サイレン・音に関する機能

センサー警戒開始時間 (5秒/5分) 選択可能

ホーネットを作動してから、各センサー（衝撃／電流センサー）が警戒を開始する間の時間を5秒と5分から選択できます。

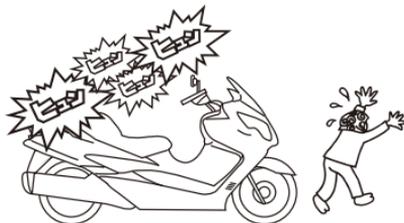
P.34参照

標準設定5秒



128dB 6音色サイレン

犯罪心理を研究し開発された6音色サイレンは最大の約128デシベルの大音量で撃退効果は抜群です。



警報タイムの選択

犯人撃退に必須の警報音は、大音量で長い時間サイレンを鳴らした方が防犯効果は高くなります。しかし、大音量のサイレンではお客様の駐車環境によっては近所迷惑にもなりかねません。ホーネットB1はこのような事情を考慮して警報時間を選択できます。リモコンによる機能設定によって5秒、10秒、15秒、30秒から選択ができます。

P.30参照

標準設定30秒



●ホーネットの作動／解除に関する機能

ハザードフラッシュ (オプション)

ホーネットの作動／解除時、警告時、警報時にバイクのハザードを点滅させることで、操作確認や視覚的に犯人を撃退することができます。

*ハザードフラッシュをご利用になるには、別売りの527Hハザードフラッシュリレーが1個必要です。



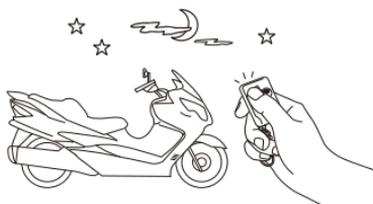
クリクートン™ (動作確認音) (ON/OFF)

深夜の帰宅やホーネットの作動を周囲に気づかれたくないときなどにクリク音を出さずにホーネットの作動／解除ができます。

また、リモコン設定により常時消音にすることもできます。

P.28参照

標準設定ON



●便利な機能

コンビニモード™

幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコン操作で2段階衝撃センサーのみを一時的にスリープ状態にできます。2段階衝撃センサーを働かせたくない場合に便利な機能です。

P.21 参照



パニックモード (強制サイレン)

いざというとき、大きな声では叫べないもの。でも、パニックモードならリモコン操作で強制的にサイレンを鳴らすことができます。リモコンボタン**I**を1.5秒以上押し続けることで強制的にサイレンを鳴らすことができます。

P.20 参照

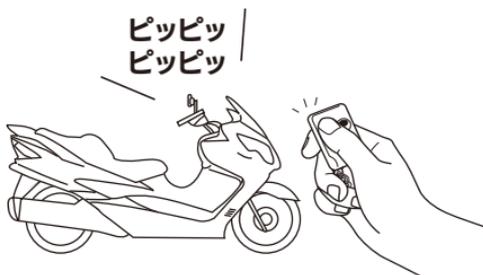


●異常確認に関する機能

メモリー機能

ホーネットの警報があった場合に警報停止後も警報が出たかどうかを記憶してレポートします。ホーネット解除時にクリックトーン（動作確認音）が通常2回から4回に変化して知らせてくれるので安心です。

P.23参照



●リモコンに関する機能

デジタルリモコン (2個標準)

ホーネットのリモコンは標準で2個付属しています。リモコンの組み合わせは698億通り以上あり、デジタル方式の採用により、電波の混信によって誤作動することがありません。

また、リモコンコード盗難防止機能をONにすればリモコンのコード自体の盗難も防ぐことができます。世界で唯一のお客様だけのリモコンです。万一リモコンを紛失しても、以前のリモコンの登録を消去して新しくリモコンを作成 (有償) することもできますので、安心してご使用ください。リモコンを作成・増設するには必ず製品を購入された取付販売店にお問い合わせください。リモコンの電池は、最寄りの取付販売店にてご購入ください。

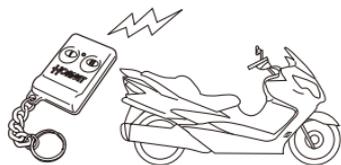


(ホーネットリモコン用電池601M 1パック1個入)

※ホーネットは電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している箇所では混信を受ける可能性が全くないわけではありません。

リモコンIDコード盗難防止機能 (コードホッピング®)

698億を超えるリモコンのIDコード自体をランダムに変化させ、しかも一度使用したIDコードは二度と使用しません。万一、IDコードがコピーされてもホーネット自体のIDコードが変更されているため、コピーしたリモコンではホーネットを解除できません。より安全で安心にご使用いただくための機能です。

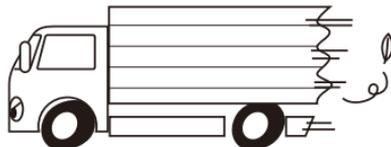


●その他

NR-Aノイズリダクション

特許

NR-Aの採用によりトラック通過ノイズ等による連続微振動を大幅にキャンセルできるようになりました。また、強風などの揺れに反応しないため誤作動が大幅に低減されました。



低消費電流

ホーネットメインユニットの待機電流は平均約6mA未満なので長期間の連続使用ができ安心です。

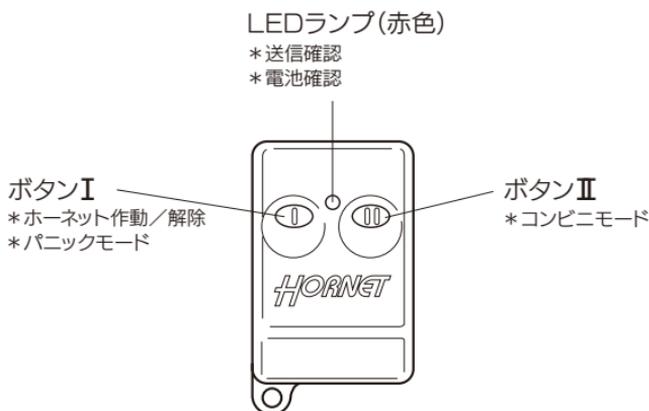
ホーネットステッカー

ホーネットのステッカーが1シート付属しております。周囲にホーネット装着車であることを認識させることで、視覚的に犯罪を抑制する効果抜群です。

※非売品のためステッカーの再発行等は一切していません。

基本的なリモコンの使い方

リモコンのボタンについて



注意

- リモコンの電池は機能のテストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので、無償交換などは一切致しておりません。電池が消耗している場合には、新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。

ホーネットを作動させる

- 1 エンジン停止後、バイクから降り、スタンドを立てます。
- 2 リモコンのボタンIを1回(1秒ほど)押してください。
- 3 ホーネットが作動すると“ピッ”と1回動作確認音が鳴って作動したことを知らせます。



ホーネットを解除する

- 1 ホーネット作動中に、リモコンのボタンIを1回(1秒ほど)押してください。
- 2 警報が鳴っていない場合には確認音が2回“ピッピッ”と鳴って解除されます。



* 警報が鳴った場合はメモリー機能により4回“ピッピッピッピッ”と鳴ります。

P.23参照

注意

- 機能設定でクリックトーン（動作確認音）を OFF に設定してある場合には作動の確認音は鳴りません。
- 操作を誤ってホーネット作動中のまま走行したり、ホーネットを作動させたつもりで解除になってしまうことがないように注意してください。
- 何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であってもパニックモードにより警報音が鳴り出す場合がありますが、あわてずにリモコンにより解除してください。

警報が鳴っている時にホーネットを解除する

- 1** 警報が鳴っている時に、リモコンのボタンIを1回(1秒ほど)押してください。



- 2** 警報が鳴っている時には警報音のみが止まります。(ハイセキュリティ解除機能が働きます。)

P.22参照

- 3** 再度リモコンボタンIを1回(1秒ほど)押すと、警戒体制が解除され、同時に確認音が4回“ピッピッピッピッ”と鳴ります。



クリックトーン™消音機能

住宅密集地や夜間にご使用の場合ホーネットの作動／解除の音を周囲に気付かれたくない時に便利な機能です。

- 1 リモコンボタンⅡを1秒ほど押してください。



———5秒以内に次の操作をする———

- 2 づけて、リモコンボタンⅠを1秒ほど押してください。クリックトーン(動作確認音)を消してホーネットの作動／解除ができます。



* 機能設定の項目でクリックトーンの設定を OFF にすると、ON/OFF 時のクリックトーンを常時、消すことができます。

注意

- 機能設定にてクリックトーン（動作確認音）を OFF に設定した場合にはこの消音機能に関わらずクリックトーンは鳴りません。

基本的なリモコンの使い方

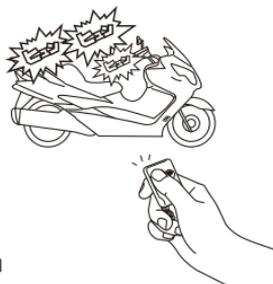
パニックモード (強制サイレン)

緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時などに便利です。

1 リモコンのボタン**I**を、1.5秒以上押し続けます。

2 ホーネットはパニックモードとなり、警報が鳴り始めます。
警報音終了後、ホーネットは作動します。
警報音はリモコンにより設定した秒数鳴ります。

機能設定項目2：P.30参照



3 警報音が鳴っている最中にリモコンボタン**I**を1秒ほど押すと、警報音のみが止まります。

4 ホーネットを解除したい場合には、リモコンボタン**I**を1秒ほど押ししてください。
確認音が2回“ピッピッ”と鳴りホーネットが解除されます。

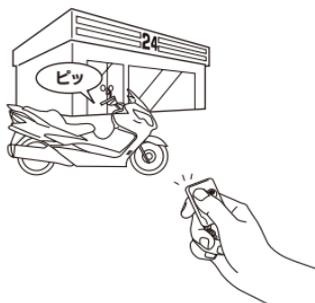
※確認音が鳴らずに警報音のみ止まった場合は、再度リモコンボタン**I**を押してホーネットを解除してください。

ハイセキュリティ解除機能：P.22参照

コンビニモード™

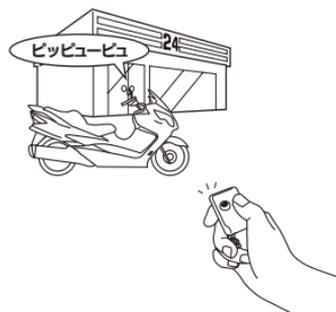
幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合に便利な機能です。

- 1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押しホーネットを動作させます。



———5秒以内に次の操作をする———

- 2 リモコンボタンⅡを1回押します。



- 3 確認音“ピッピューピュー”と鳴り、2段階衝撃センサーのみ動かなくなります。

※コンビニモードの設定音は消去できません。

- 4 コンビニモードのOFFは、ホーネットを解除にすると同時にコンビニモードも解除されます。



ヒント

- コンビニモード中でもシートトリガー、電流センサー、オプションセンサーは作動します。

便利な機能

ハイセキュリティ解除TM機能

ホーネットはハイセキュリティ解除機能により、警報音（サイレン）が鳴っている最中に警戒体制を解除せずに、警報音のみを止めることができます。ホーネットが解除にならないため、再度作動させる必要がありません。

1 ホーネット作動

ホーネット作動
5秒または5分後に
センシング開始



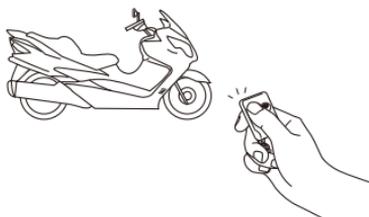
2 警報音

センサーが働くと
警報音が鳴り始める



3 ハイセキュリティ解除

警報音が鳴っている最中に
リモコンボタンIを1秒ほど押すと
ホーネットが解除することなく
警報音のみ止まる



4 ホーネット解除

メモリー機能により警報が
鳴ったことを4回動作確認
音が鳴って知らせます

※通常2回



メモリー機能

ホーネットはメモリー機能により、警報が発報したことを記憶できます。ホーネット解除時にクリック音が通常の2回から4回に変化して警報が鳴ったことをレポートします。

状態	レポート内容	動作確認音
ホーネット作動	正常に作動	ピッ
ホーネット作動	センサーが働いた状態で作動	ピッ 約2~3秒後 ピッ
ホーネット解除	正常に解除	ピッピッ
ホーネット解除	警報音が鳴ったことをレポート	ピッピッピッピッ



標準センサーについて

2段階衝撃センサーについて

【2段階衝撃センサーとは】

メインユニット内蔵の2段階衝撃センサーは車体への衝撃をキャッチし警告音または警報音を発します。車体に強い衝撃が加わった場合には即警報音を発し、警報タイム設定時間あるいはリモコンによって解除されるまで鳴り続けます。弱い衝撃が加わった場合には警報音は鳴らず警告音が数回鳴ります。本製品では2段階衝撃センサーのそれぞれのモード（警告モード、警報モード）のセンサー感度を個別に調整可能です。リモコンで16段階の感度設定ができます。例えば、警報モードを0に設定すれば、警報を鳴らさないで警告音のみで威嚇することができるようになります。住宅密集地などで騒音が気になる方にお勧めです。

注意

- ホーンネットは128dBの音量で警告または警報による威嚇ができます。
- 2段階衝撃センサーの感度は取付位置や取付向き、車両のボディ剛性によって大きく異なります。
- 2段階衝撃センサーの感度を0に設定した場合でも、シートのこじ開けを検出するためのセンサーは独立して作動しています。シートなどがこじ開けられた場合に警報が鳴ることを確認してください。
- 2段階衝撃センサーは風などによる“揺れ”には反応しません。
- 2段階衝撃センサーが0に設定していない場合、連続した微振動を検出して警報が鳴るようにプログラムされていますので環境に応じて有効にご使用ください。

【上手な感度設定の仕方】

- 車体を駐車している環境に応じて感度を設定する必要があります。ここでは代表的な感度設定の例をご紹介します。

例1：微振動が発生する要素が多くある場合

- ・幹線道路の近くでトラックなどの往来がある
- ・バックファイヤーの激しいクルマが往来する
- ・飛行場などの近く
- ・工事現場や工場の近くなど

128dBの警告音のみで効果的に威嚇	
警告モード	1~5
警報モード	0

例2：犯罪防止のため必ず警報音を鳴らしたい

- ・警報が鳴っても特に問題ない環境

128dBの警告音と警報音で効果的に威嚇	
警告モード	9~16
警報モード	8

例3：閑静な住宅街であり警報音は鳴らしたくない

- ・周りでは微振動は起きない
- ・強い衝撃では警報を鳴らしたい

128dBの警告音と警報音で効果的に威嚇	
警告モード	11~16
警報モード	1~2

ヒント

- 警告モードと警報モードの設定を10以上離すことで“ノイズリダクション”が効きやすくなります。

2段階衝撃センサー感度調整の方法

- 1** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを作動します。

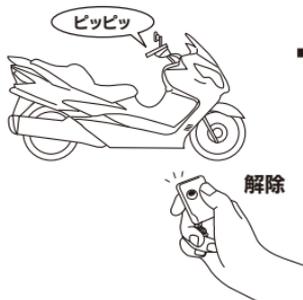


警報モードの感度調整

—5秒以内に③の操作をする—

警告モードの感度調整

- 2** リモコンボタンIを1秒以上押して
ホーネットを解除します。



—5秒以内に③の操作をする—

- 3** 前の操作から5秒以内にリモコンのボタンIIを1秒以上押し、感度調整モードに入ります。
確認音“ピューピュー”が鳴れば、感度調整モードに入っています。
5秒以上放置すると、感度調整モードを自動的に終了します。

標準センサーについて

4 感度を上げる場合（最大 16）

リモコンのボタンⅡを押すたびに感度レベルの確認音“ピッピ”が鳴って1段階ずつ感度が上がります。
最大感度になると確認音“ピッピ ピューピュー”が鳴って知らせてくれます。



UP

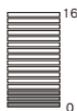


5 感度を下げる場合（最小 0）

リモコンのボタンⅠを押すたびに感度レベルの確認音“ピッ”が鳴って1段階ずつ感度が下がります。
最低感度になると確認音“ピッ ピューピュー”が鳴って知らせてくれます。



DOWN



注意

- 工場出荷時は警報モード、警告モード共にレベル 7 設定です。

電流センサーについて

メインユニット内蔵の電流センサーは不正なエンジン始動が発生した場合に警報音を鳴らします。

機能設定項目3 電流センサーON/OFF：P.32参照



機能設定項目について

項目番号	設定項目	詳細ページ	ボタンⅠ(標準設定) 確認音“ピッ”※1	ボタンⅡ 確認音“ピッピッ”※1
1	クリックトーン(動作確認音)	P.28	ON	OFF
2	警報タイムの選択	P.30	30秒	5秒/10秒/15秒 ※2
3	電流センサー ON/OFF	P.32	ON	OFF
4	センサー警戒開始時間	P.34	5秒後	5分後
5	センサーレポート音	P.36	ON	OFF
6	2段階衝撃センサーフルサイレン	P.38	ON 警報音&警告音	OFF 警告音のみ
7	NR-Aノイズリダクション	P.40	ON 警告音(断続)	OFF 警告音から警報音
8	コードホッピング®	P.42	ON	OFF

※1 動作確認LEDを使用した場合に、ボタンⅠでは点灯、ボタンⅡでは点滅して設定状況の確認ができます。

※2 確認音はリモコンのボタンⅡを押すたびに5秒=2回、10秒=3回、15秒=4回に変化します。

機能設定項目1 クリックトーン™ ON/OFF

【クリックトーン ON/OFF】 標準設定 ON

ホーネットの作動と解除のクリックトーン(動作確認音)を常時消したい場合に便利です。

- 1** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを作動します。

確認音：ピッ



——5秒以内に次の操作をする——

- 2** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを解除します。

確認音：ピッピッ

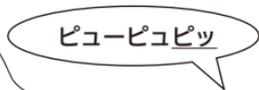


——5秒以内に次の操作をする——

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押すたびに
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

確認音がするまでリモコンを押します。

1回目の確認音：ピューピュピッ



——5秒以内に次の操作をする——

4 クリックトーンをONに設定したい場合

リモコンボタンIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッ



クリックトーンをOFFに設定したい場合

リモコンボタンIIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッピッ



——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音:ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

注意

- クリックトーンOFFの場合は、機能設定に入るときの「ピッ」「ピッピッ」は鳴りません。

機能設定項目2 警報タイムの選択

【警報音の時間選択】 標準設定 30秒

警報音の鳴る時間を 5秒、10秒、15秒、30秒から選択できます。

- 1** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーンネットを作動します。

確認音：ピッ



——5秒以内に次の操作をする——

- 2** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーンネットを解除します。

確認音：ピッピッ



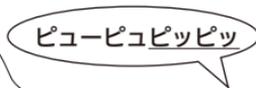
——5秒以内に次の操作をする——

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押すたびに
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押し、2回目のピューピューピッピッ
まで移ります。

1回目の確認音：ピューピューピッ

2回目の確認音：ピューピューピッピッ



——5秒以内に次の操作をする——

4 警報タイムを30秒に設定したい場合

リモコンボタンIを5秒以内に1秒ほど押します。

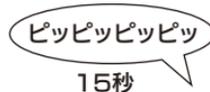
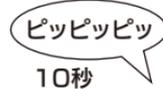
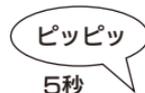
確認音: ピッ



警報タイムを変更したい場合

リモコンボタンIIを5秒以内に1秒ほど押すたびに、5秒、10秒、15秒を繰り返します。

確認音: ピッピッ (5秒)
: ピッピッピッ (10秒)
: ピッピッピッピッ (15秒)



——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音: ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目3 電流センサー ON/OFF

【電流センサー ON/OFF】 標準設定 ON

電流センサーを使用するか、使用しないかを選択できます。

- 1** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを作動します。

確認音：ピッ



——5秒以内に次の操作をする——

- 2** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを解除します。

確認音：ピッピッ



——5秒以内に次の操作をする——

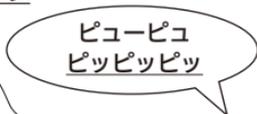
- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押すたびに
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押し、3回目のピューピューピッピッピッまで移ります。

1回目の確認音：ピューピューピッ

2回目の確認音：ピューピューピッピッ

3回目の確認音：ピューピューピッピッピッ



——5秒以内に次の操作をする——

4 電流センサーをONに設定したい場合

リモコンボタンIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音: ピッ



電流センサーをOFFに設定したい場合

リモコンボタンIIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音: ピッピッ



——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音: ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目4 センサー警戒開始時間選択

【センサー警戒開始時間 5秒/5分】 標準設定 5秒

標準センサーの2段階衝撃センサーと電流センサーの警戒開始時間を5秒または5分に設定します。

- 1** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを作動します。

確認音：ピッ



——5秒以内に次の操作をする——

- 2** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを解除します。

確認音：ピッピッ



——5秒以内に次の操作をする——

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押すたびに
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押し、4回目のピューピューピッピッピッピッまで移ります。

1回目の確認音：ピューピューピッ

2回目の確認音：ピューピューピッピッ

4回目の確認音：ピューピューピッピッピッピッ



——5秒以内に次の操作をする——

4 センサー警戒開始時間を5秒に設定したい場合

リモコンボタンIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッ



ピッ

センサー警戒開始時間を5分に設定したい場合

リモコンボタンIIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッピッ



ピッピッ

——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音:ピッピューピュ

ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目5 センサーレポート音

【センサーレポート音 ON/OFF】 標準設定 ON

各種センサーが作動した状態でホーネットが作動した場合に、センサーが作動していることをレポートします。シート開きのチェックなどにも便利な機能です。

- 1** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを作動します。

確認音：ピッ



—5秒以内に次の操作をする—

- 2** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを解除します。

確認音：ピッピッ



—5秒以内に次の操作をする—

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押すたびに
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押し、5回目のピューピューピッピッピッピッピッまで移ります。

1回目の確認音：ピューピューピッ

2回目の確認音：ピューピューピッピッ

5回目の確認音：ピューピューピッピッピッピッピッ



—5秒以内に次の操作をする—

4 センサーレポート音をONに設定したい場合

リモコンボタンIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッ



センサーレポート音をOFFに設定したい場合

リモコンボタンIIを5秒以内に1秒ほど押します。

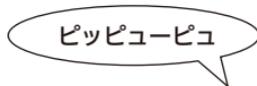
確認音:ピッピッ



—リモコン操作はしません—

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音:ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目6 2段階衝撃センサーフルサイレン

【2段階衝撃センサーフルサイレン ON/OFF】 標準設定 ON

警報モードの設定にかかわらず、警告音のみで警戒をする場合にはOFFに設定します。

- 1** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーンネットを作動します。

確認音：ピッ



—5秒以内に次の操作をする—

- 2** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーンネットを解除します。

確認音：ピッピッ



—5秒以内に次の操作をする—

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押すたびに
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押し、6回目の確認音が鳴るまで繰り返します。

1回目の確認音：ピューピューピッ

2回目の確認音：ピューピューピッピッ

6回目の確認音：ピューピューピッピッピッピッピッピッ



—5秒以内に次の操作をする—

4 2段階衝撃センサーフルサイレンをONに設定したい場合

リモコンボタンIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッ



ピッ

2段階衝撃センサーフルサイレンをOFFに設定したい場合

リモコンボタンIIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッピッ



ピッピッ

—リモコン操作はしません—

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音:ピッピューピュ

ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目7 NR-Aノイズリダクションシステム (特許)

【NR-Aノイズリダクションシステム ON/OFF】 標準設定 ON

トラックノイズなどの連続微振動に対して警報音を鳴らさずに警告音のみで警戒をします。

- 1** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを作動します。

確認音：ピッ



—5秒以内に次の操作をする—

- 2** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを解除します。

確認音：ピッピッ



—5秒以内に次の操作をする—

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押すたびに
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押し、7回目の確認音が鳴るまで繰り返します。

1回目の確認音：ピューピューピッ

2回目の確認音：ピューピューピッピッ

7回目の確認音：ピューピューピッピッピッピッピッピッピッ



—5秒以内に次の操作をする—

4 NR-AをONに設定したい場合

リモコンボタンIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッ



NR-AをOFFに設定したい場合

リモコンボタンIIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッピッ



—リモコン操作はしません—

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音:ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目8 コードホッピング®(特許)

【コードホッピング® ON/OFF】 標準設定 ON

リモコンのID番号をランダムに変化させて、二度と同じIDを使用しないので、IDコードの盗難ができなくなります。

- 1** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを作動します。

確認音：ピッ



—5秒以内に次の操作をする—

- 2** リモコンボタンIを1秒ほど押して
ホーネットを解除します。

確認音：ピッピッ



—5秒以内に次の操作をする—

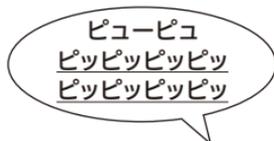
- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押すたびに
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押し、8回目の確認音が鳴るまで繰り返します。

1回目の確認音：ピューピュピッ

2回目の確認音：ピューピュピッピッ

8回目の確認音：ピューピュピッピッピッピッピッピッピッピッ



—5秒以内に次の操作をする—

4 コードホッピング®をONに設定したい場合

リモコンボタンIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッ



ピッ

コードホッピング®をOFFに設定したい場合

リモコンボタンIIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音:ピッピッ



ピッピッ

——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音:ピッピューピュ

ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

トラブルシューティング

故障かな?と思ったら

症状と原因	対策
☆勝手に警報音が鳴る <ul style="list-style-type: none">・メインユニットの固定が不十分・電源線の接触不良・各センサーの感度が高すぎる・電流変化が起きている・バッテリーが弱っている・衝撃センサーの感度が高すぎる	確実に固定してください。 電源線を確実に接続してください。 センサーの感度を絞ってください。 電流センサーをOFFにしてください。 新しいバッテリーに交換してください。 感度を絞ってください。
例えば：停止時でも車両に電流変化が起きている場合は電流センサーを使用することができません。	
☆リモコンが利かない ……リモコンのLEDの点滅である程度判断できます。 <ul style="list-style-type: none">・IDコードがずれている・ラジオ局など無線局が近くにある・アンテナ線が金属部に接続している・リモコンの電池がない・バッテリーが弱っている・水の浸入があった リモコンの電池の接触不良	再度リモコンの同調をしてください。 (お買い求めの販売店に調整を依頼してください。) *メインユニットの電源やバッテリーなどを取り外した場合などに電源ノイズによりリモコンの同調がずれることがあります。 バイクの近くに寄って操作してください。 アンテナ線の固定箇所を変えてください。 新しい電池に交換してください。 新しいバッテリーに交換してください。 お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。 *水の浸入による故障は保証期間内であっても有償修理となります。
☆叩いてもサイレンが鳴らない <ul style="list-style-type: none">・作動してから5秒以上待っていない・コンビモードになっている・車体を揺らしている・感度が低すぎる・メインユニットの固定位置が最適でない	“ピッ”と鳴ってから5秒以上待ってください。 再度ホーンネットを作動してください。 揺れには反応しません。 感度を上げてください。 説明書通りに固定してください。

上記のテストを行っても、正しく作動しない場合など、詳しくはお買い求めの販売取付店またはお客様センターまでお尋ねください。

アフターサービスについて

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
- 本製品の保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。

保証書について

- 製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。お客様の安全管理、アフターサービスのため、ユーザー登録は必ずお客様登録カードにより郵送にて行ってください。(FAX 不可)
ユーザー登録がされていない場合にはサポートが受けられない場合がありますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼されるときは

- 説明書に記載の「故障かな?と思ったら」(P.44)を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前に取付販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。当社お客様サポートセンターへご相談後に検査依頼をされた場合でも、送料はお客様のご負担となります。
- 修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。
このとき保証書は必ずご提示ください。

- 1 型式名、型番号、シリアル番号
(例: ホーネット B1 0 0000000000)
- 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ店名
- 5 お名前、住所、連絡先電話番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くのホーネット取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、修理を依頼されるとき送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ先・製品仕様

●ホーネットについてのお問い合わせは……

KATO-DENKI

お客様サポートセンター

TEL 0569-26-0088

FAX 0569-26-0089

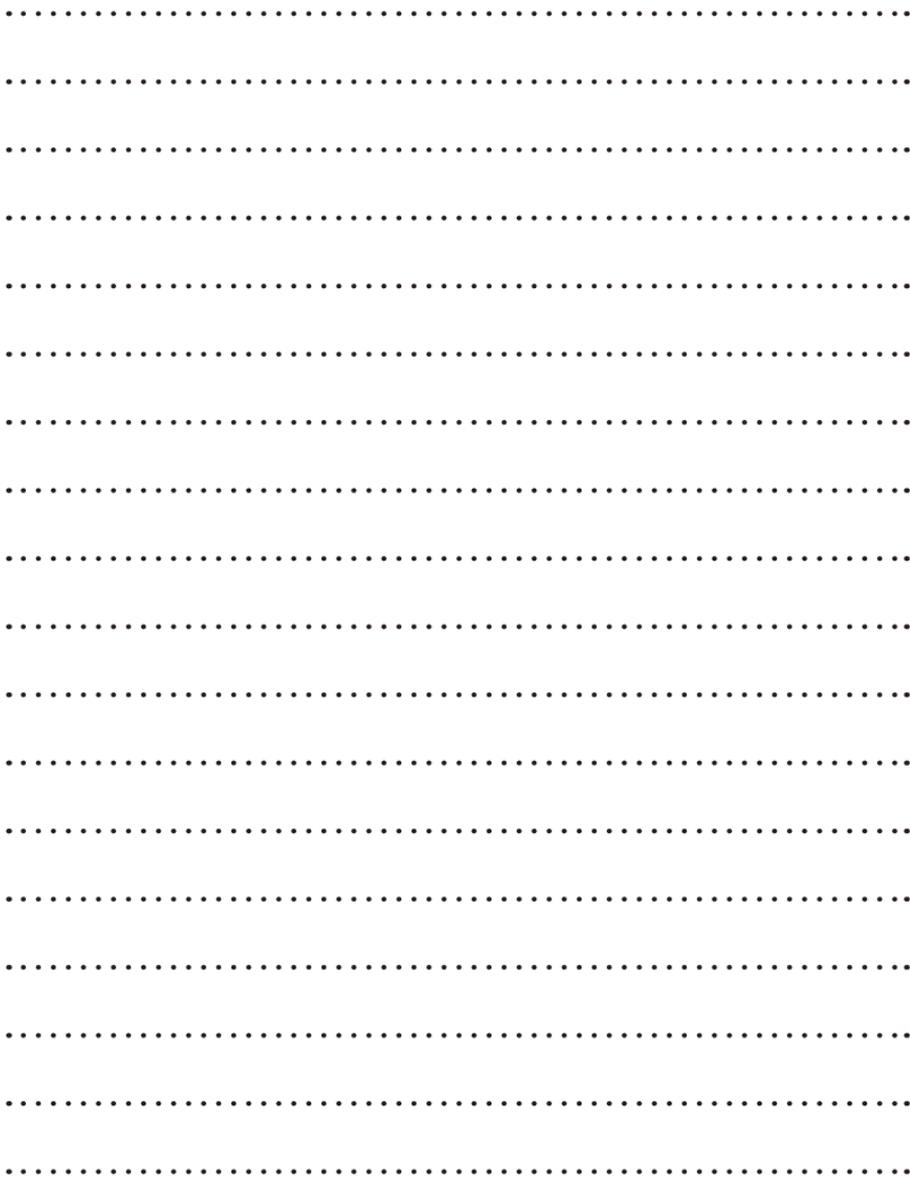
営業時間 月～金 10:00～17:00（祝日、年末年始等は除く）

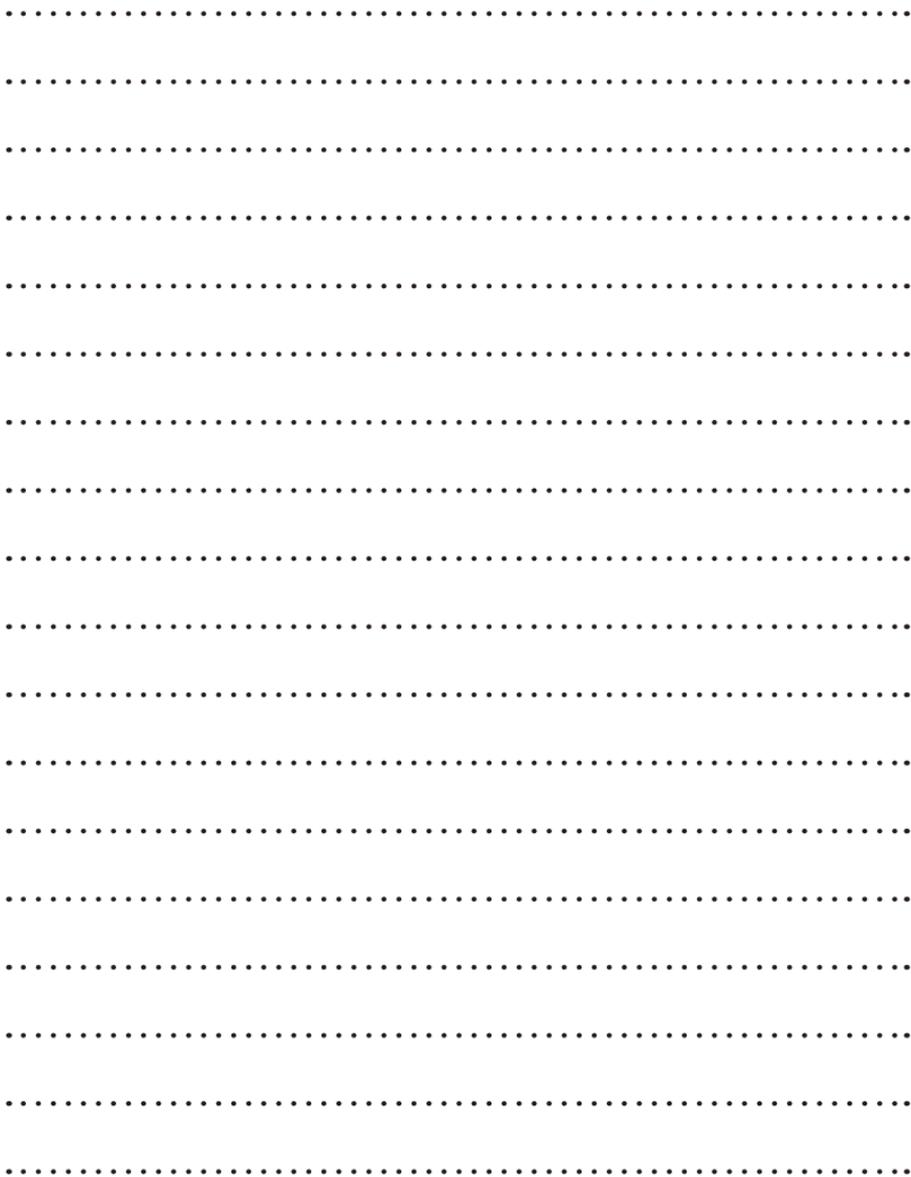
※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますので
あらかじめご準備ください。

製品仕様

●電源電圧	DC12V
●メインユニット消費電流(待機時)	約6mA
●メインユニット消費電流(警報時)	約700mA～1A
●サイレン音圧	約128dB
●使用周囲温度	約-20℃～+85℃
●メインユニット外形寸法	約86×62×78mm
●質量	約270g

販売店







「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

<http://www.kato-denki.com>